

開かれた行政をめざして

未来を拓く都留まちづくり会議の開催

市では、新時代にふさわしい健康で生きがいのある市民の暮らしの実現を目指し、市民参加型・提案型の市民主体によるまちづくりを進めるため、未来を拓く都留まちづくり会議を実施しています。

今年度は、市町村合併をテーマにまた地方路線バスについても皆さんからご提言やご意見をお聞きしたく、下記日程により開催します。

お忙しい時期とは存じますが皆さんの参加をお願いいたします。

問合せ 総務課 秘書広報担当



昨年開催した未来を拓く都留まちづくり会議の様子

開催日	開催時間	地区	会場
2月 7日 (金)	午後7時～9時	三吉地区	いきいきプラザ都留
2月 8日 (土)	午後7時～9時	盛里地区	盛里公民館
2月10日 (月)	午後7時～9時	東桂地区	東桂地域コミュニティセンター
2月12日 (水)	午後7時～9時	禾生地区	禾生地域コミュニティセンター
2月13日 (木)	午後7時～9時	宝地区	宝公民館
2月14日 (金)	午後7時～9時	開地地区	市役所大会議室
2月15日 (土)	午後7時～9時	下谷地区	市役所大会議室
2月17日 (月)	午後7時～9時	中谷地区	市役所大会議室
2月20日 (木)	午後7時～9時	上谷地区	市役所大会議室

地方路線バスについて皆さんのご意見をお寄せください

地方路線バスは、通勤、通学、通院、買い物など、市民の皆さんの日常生活を支える公共交通機関として重要な役割を果たしています。しかし、マイカーの普及などにより、バスの輸送人員も走行キロ数も年々下降傾向にあります。

現在市内では、富士急山梨バス(株)が、市内の各方面に路線網を有していますが、利用者数は少なく、その多くは赤字路線であり、そのうち、国や県の補助が受けられる路線以外の路線について退出の意向を示しています。

赤字バス路線を維持するためには、地域にとって、その交通サービスが本当に必要なかどうかを見極め、その上で必要であると地域で決めた交通サービスについては、運行便数の減少や料金値上げによる維持、さらには市税投入などの行政からの財政支援や新たな交通システムの確立なども必要になってきます。市民の皆さんにとって何が一番よい選択なのか、一緒に考えてみましょう。



問合せ 政策形成課 E-mail kikaku2@city.tsuru.yamanashi.jp

富士急山梨バス(株)提出資料：平成14年決算数値より

(曜日による運行・運休便も含む)

方面	現在の運行便数	退出申し出予定便数
宝方面	12便	全便
盛里・秋山村方面	盛里・秋山村行き6便 都留市駅行き7便	盛里・秋山村行き3便 都留市駅行き3便
戸沢方面	6便	全便
開地・道志村方面	開地・道志村行き7便 都留市駅行き7便	開地・道志村行き3便 都留市駅行き6便
鹿留(砂原)方面	1便	全便
三ツ峠駅方面	三ツ峠駅発市立病院行き1便	全便

※上記退出申し出予定路線を維持するには、2,455万円の費用が必要です。